

令和7年度 学校評価

1 教育目標

知・徳・体を錬磨し、国家及び社会の限りない伸展に貢献するとともに、人類が築いた文化遺産の継承発展に資する心身ともに健康な日本人を育成する。

- ・真理と正義を愛しひたむきに学ぶ若人
- ・勤労と責任を重んじいつくしみにあふれる若人
- ・心と体を鍛えたくましく生きぬく若人

校訓

つちかい かがやけ

本年度の重点目標

スクール・ポリシーの具現化

- 生徒たちの日々の学びの一層の充実と、成長に向けた多面的な支援の推進
- 日常的な情報交換による指導者のスキルアップ
- きめ細やかな広報活動による地域社会との連携強化

2 前年度の学校評価

(1)自己評価結果等

| 項目(担当) | 重点目標 | 具体的方策 | 評価結果と課題(◆が課題) |
|----------------------------------|--|---|--|
| 多忙化解消を推進して、心身ともに活力ある教育活動の推進(全職員) | ・教職員の勤務時間を適正に管理して、長時間労働による健康障害を防止するとともに、意欲的で活力ある教育活動を推進する。 | ・安全衛生委員会を勤務環境改善の主体として、職員室の開錠施錠時刻、定時退校日、部活動ガイドラインを順守する。 | ・職員の健康保持のため、定時退校日の設定や複数部顧問制、デジタル採点の推進等を行ってきた。この点については次年度も改善を図り進めていきたい。 ◆引き続き職員の健康が質の高い教育につながることを念頭に置いて、業務の見直し等、働きやすい職場環境の整備も進めていきたい。 |
| 学校行事の充実(総務・特別活動) | ・式典関係の充実 ・学校行事への生徒の積極的参加・式典関係の充実 | ・学校への帰属意識や連帯感を深めるため、式典の意義を理解しやすい運営を心掛ける。 ・各行事の際に、生徒会役員が主導して、議員、委員、実行委員を企画準備段階から活動させる。 ・学級内での役割分担を明確に行わせる。 | ・体育館の空調工事の都合で、2学期終業式、3学期始業式も、放送室(本部)からTeamsで実施した。本部と各教室がチャットを通してスムーズにやり取りができるようになり、前回よりもスムーズに進めることができた。 ◆今後は体育館での実施となるが、放送機器の点検や生徒の移動経路の確認なども行い、今後も計画通りに実施できるようにしたい。 ・年間を通して、生徒会役員選挙、体育祭、文化祭、スポーツ大会等、生徒会が中心となって、議員、委員、実行委員が企画段階から準備できた。 ・年間を通して、学校行事において、事前に役割分担を行い、適切に活動できた。ICTを活用する生徒会役員選挙やアンケート等、新たな取り組みも成功した。 |

| | | | |
|--------------------------|---|--|--|
| 学習指導の徹底 (教務) | <ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立 ・確かな学力の定着 ・新教育課程の施行に伴う観点別評価の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習時間調査を定期的に行い、家庭学習の状況を把握し、適切な家庭学習教材について学年で議論する一助とする。 ・ICT機器を用いた授業を推進するとともに、生徒がより主体的に活動できるように努める。 ・公開授業を実施し、学校全体で知識や経験の共有化に努める。 ・新学習指導要領に基づく評価基準により、生徒の「知識、技能」「思考力、判断力、表現力」「学びの向かう力、人間性」を伸ばさせていくとともに、教員の授業の改善を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の状況を確認する一つの面として役立つ。生徒自身が自分の学習を振り返るきっかけになるので今後も続けたい。 ・通常の授業や総合的な探究の時間でタブレット・スマホを使用する機会が増えている。協働的に学ぶことや理解を助けるためにさらに充実させたい。 ・多くの先生方にこの機会を活用していただいている。今後は目安として同一教科、他教科ともに1回ずつ見学できるとよい。 ◆評価基準を生徒に伝えると良い評価を取りたい生徒は、そのように行動する。適切な評価方法を考えたい。3観点の割合などについてもまだまだ検討の余地があるので今後の課題である。 |
| 進路指導の徹底 (進路指導) | <ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報の整理と情報提供の工夫 ・生徒一人ひとりの能力や適性を生かした進路実現 ・キャリア教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・複雑化する入試に向けて、分かりやすい情報提供をする。 ・補習、模試、土曜講座を通じて、入試に対応できる学力を養成するとともに、最後まで粘り強く入試を乗り切る自信を身につけさせる。 ・大学、学部、学科を研究させ、将来どのような職業につながるかを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨今の大学入試の制度を生徒・保護者だけでなく、職員に対しても情報共有を丁寧に行った。その上で、本校の進路指導方針を伝えていった。 ・進路の年間行事予定に関して学年団、他分掌と連携して様々な意見をいただきながら見直すことができた。今後もよりよい進路指導になるように継続して検討していきたい。 ◆次年度は進路に関する探究活動をより充実させていきたい。高大連携、企業との連携など活用し、高校卒業後のキャリア教育についてより充実させていきたい。 |

| | | | |
|--------------------------|---|---|--|
| 生徒指導の徹底 (生徒指導) | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導案件の早期発見及び対応、教育相談との連携 ・交通安全意識の向上 ・身だしなみの向上 ・情報リテラシーの習得 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の問題行動やいじめについて、早期発見と早期対応を徹底し、指導を進める中で教育相談と連携して生徒への適切な働きかけを見極める。 ・交通安全講話の実施、無事故無違反ラリーへの参加に加え、定期的な職員の街頭指導や対面や放送による口頭指導を行い、交通マナーの向上と交通事故の防止を目指す。 ・制服の着こなしや髪型について定期的に生徒に自己点検をさせ、社会人として望ましい身だしなみをさせる。 ・デジタルシティズンシップ講習会を活用し、インターネットやソーシャルメディアを学習に活用する方法や日常で利用する際に気をつけることを共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報を生徒指導部内で共有し、管理職、学年主任、学級担任と連携して問題行動の早期発見と早期対応に努めた。教育相談との連携については相談委員会を通じて情報を共有し、指導方針を確認するとともに、必要に応じて対応していくことができた。 ・西枇杷島警察署と連携し、交通安全関連行事を実施した。また、年間を通して教員による交通安全指導や保護者にも協力してもらい、11月に2回の交通安全指導を実施するなど、継続的に交通安全意識の向上に取り組んだ。 ・身だしなみについて注意喚起や登校時の声掛けを継続して実施することができた。 ◆今後は、私服登校日を設けるなど、自ら考えて服装を選択することができるよう、指導していきたい。 ◆デジタル・シティズンシップ講習会(7月・11月)を実施した。SNS上でのトラブルが多く発生している内容を中心に講習会を実施したが、今後についてもトラブルを未然に防ぐための自己判断力の向上に繋げていきたい。 |
| 特別活動の推進 (特別活動) | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒議会の充実 ・より多くの生徒の学校行事への主体的な関わり ・部活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒議会を、議長・生徒会役員を中心として運営する。目安箱の意見も参考にしながら議論していく。 ・学校行事において、より多くの生徒が企画段階から関われる仕組みをつくる。 ・特別活動部と部顧問の連携を密にし、部活動の活性化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆年間を通して、適宜、生徒議会を開き、議長、生徒会役員を中心に運営できた。今後も生徒の意見を取り入れ、自主性が育つ議会運営を進めていきたい。 ・体育祭、文化祭、スポーツ大会において、企画段階から多くの生徒が関わり、運営できた。 ・各部活動の体育館や運動場のローテーション等、各顧問と相談しながら適切に運営できた。多くの部活動が活発に活動できた。 |
| 教育環境の整備充実 (保健) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備意識の高揚 ・安全で清潔な環境の維持と美化活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内の環境整備及び美化とゴミの分別処理・減量化を徹底する。 ・教職員、生徒全員による学校美化活動を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昇降口横廊下にゴミ箱を常設して、教室にゴミを溜めることなく捨てるようにした。通常清掃は全員清掃を行い、BGMを流した結果、BGMが流れている間は清掃に取り組む姿勢がみられた。 ◆来年度に向け、教室、特別教室の清掃道具の交換を年度末に行い、より充実した清掃活動ができるように準備する。 |

| | | | |
|------------------------|--|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室の清掃道具の交換を行う。 | |
| 保健教育の推進 (保健) | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策 ・事故、けが、病気等安全に対する健康管理能力の育成 ・メンタルヘルスケアの充実 ・相談室の活用の充実 ・健康観察の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症予防対策として、手洗い、換気、消毒の徹底を生徒、職員に呼びかける。 ・生徒自身の心身の健康課題を理解させ、事故やけがが防止の指導と事故後の早期対応を行う。 ・教育相談委員会を昨年度と同様毎週行い、生徒情報を全職員で共有して、対応を考える。 ・昨年に続いて、相談室の活用の仕方を工夫する。 ・朝のS T時に健康観察を全クラスで実施し、不調な生徒の早期発見に努め、生徒情報の共有に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ、インフルエンザの感染者が少なからずいる。1 2月から昼放課に放送で、換気・手洗いを呼び掛けた。 ・生徒に事故やケガの防止を呼び掛けている。早退させる生徒の保護者への連絡をこまめに行った。 ・教育相談委員会をほぼ毎週行い、不調な生徒の情報共有を行った。 ・相談室を生徒や保護者との面談に活用した。 ・朝の健康観察は担任の協力のもと毎日行い、不調な生徒の早期発見に努めた。 |
| 読書指導の推進 (図書) | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用の推進 ・読書意識の高揚 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書・学習の場として、図書館の積極利用を推進する。 ・図書館の利用促進を、教科や学年会と連携して進める。 ・図書委員会活動を活性化し、図書館行事の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事を終え、年度初めより開館することができた。来館者数、貸出冊数とも増加している。 ◆ I T利用が進む中、今後も書籍離れは加速が予想される。来館しやすいう図書館運営を進め、生徒が書籍を「手に取る」機会を増やすことに注力したい。 ・読書週間やビブリオバトルなどのほか、英語科伊藤先生の講演会を開催し好評であった。 ◆図書館行事の更なる活性化に努めたい。 |

| 項目(担当) | 重点目標 | 具体的方策 | 評価結果と課題(◆が課題) |
|-----------------------------|--|--|--|
| 開かれた学校づくりの推進 (総務) | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の充実 ・学校説明会(8月・11月) ・学校評価制度などの積極的活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見を反映することのできる形態を心掛け、よりよい学校づくりを目指す。 ・昨年度の実施要項を基に計画を練る。改善すべき点は改善し、良かった点はより一層発展させる。 ・学校評議員会、学校関係者評価委員会などでの幅広い意見集約に努め、学校運営に生かす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会は年度当初に行われるため、前年度から準備をしておく必要がある。特に、PTA総会の資料については、前年度にある程度は準備可能である。 ◆PTA総会の日には、併せて、学年別懇談会も行われるため、ともに円滑に開催できるように準備を行いたい。 ・秋季学校説明会は、夏季の反省を活かし、代表生徒の原稿の添削を行い、きちんとした発表を行うことができるようにした。その結果、すばらしい発表を行った生徒が何人もいたという評価もいただいた。その一方で、少数ではあるが、責任感に欠ける生徒もおり、係の生徒全員が計画通りに行動、発言することの難しさを改めて感じた。今後は、該当学年の先生方にもご協力をいただき、多くの教員で生徒の指導・準備を行い、余裕をもって説明会を実施することができるようにしていきたい。 ・10月末に行われた学校評議員会では、授業の見学もしていただいた。熱心に授業を受けている生徒が多いとのこと意見をいただくなど、新川高校の生徒に対して好意的な意見をいただくことができた。 |
| 第1学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立 ・学習習慣の確立と目標設定 ・授業を大切にすること意識 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習時間記録を活用して、考查毎に目標を立てたり、振り返って改善させたりすることでPDCAサイクルの構築や生活習慣の確立を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習時間は考查を経るごとに伸びてきた。考查週間以外の学習習慣の定着を図るために授業の準備を基本線として、小テストや週末課題などに、しっかりと取り組む意識を持たせ、模試の振り返りを通じて、苦手分野を理解させ、次回の目標達成のための計画を考えさせることで、進路指導に繋げていきたい。 ・大半の生徒は基本的生活習慣が身についている。 ◆遅刻や提出物が遅れる生徒に対しては、社会人になる前の準備として時間を守る意識を持たせられるように継続的に指導していきたい。 ・課題未提出者の学習会実施は考查を経るごとに人数は減少したため、効果はあったように思うが、自らの意欲的に学習できるように今後は促していきたい。 |
| 第2学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の確立と生活の充実 ・リーダーシップのとれる生徒の育成 ・自己理解と他者理 | <ul style="list-style-type: none"> ・安易に欠席、遅刻、早退をしないように担任が積極的に促す。 ・学校行事や学年行事を教員がすべて考えるのではなく、生徒に運営させることでリーダーシップがとれる生徒を多く育成する。 ・学習手帳を活用して、自分 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年間、10分間の朝の学習を継続した。ほとんどの生徒が積極的に取り組んでいた。朝の登校時間も早くなり、遅刻する生徒も多くなり、学校で学習する意識は付いた。 ・遠足や修学旅行の行事において、活動内容など生徒に主体的に考えさせ、運営させる機会を多く設けた。生徒も意欲的に考え、集団をまとめる難しさを実感できたと考える。 ・手帳を記入させることで、学習の計画や振り返りをさせ |

| | | | |
|-------------|--|--|---|
| | 解、PDCAサイクルの確立 ・授業準備（予習・復習）、主体的に授業へ参加する姿勢の育成 | の様子などを理解させる。学習の予定や実施を記入させ、PDCAサイクルをより確立させる。 ・朝の学習の継続。 ・授業の大切さ、授業を受ける態度など効果測定を通じて生徒にフィードバックして改善させる。 | たが、家での学習時間が足りないのが現状である。 ◆優先順位を考えさせ、スマホ中心の生活にならないように今後も働きかけていきたい。 ・いよいよ3年生になるので、自分の進路、将来の職業についてより重点的に指導していきたいと考えている。 |
| 第3学年 | ・自身の学習環境の整備 ・成人としての社会的規範の醸成 | ・普段の授業を大切にしつつ、補習及び土曜講座、自習室等を有効活用するように促す。 ・朝型の生活にするように促す。 ・「成人」であることの自覚と自分の行動に責任を持つことを促す。 ・安易な欠席や遅刻、早退をしないことを促す。 | ・年内受験で進路を早く決める生徒が例年より多いが、卒業まで学習する姿勢を崩さずに、全員で受験に臨む様子がみられた。 ・インフルエンザが流行していた中で体調管理をしっかりと、多くの生徒が安定した学校生活を送っていた。 ◆今後は、受験のプレッシャーで精神的に厳しくなる生徒が出ないように声掛けをして、個々に合わせた指導をしていきたい。 |
| 総合評価 | あいちラーニング推進事業の主管校となり、「主体的・対話的で深い学び」の推進のため、ICT活用が効果的となるとように研究している。研修や教科会での授業案検討等により、徐々にICTを授業に入れ、探究的な活動が見られ始めている。さまざまな実践を通し、本校としての指導体制が確立されるよう今後教員が楽しみながら取り組んでいけるようにしていきたい。地域探究では、今年度は清須市との連携も密になった。市役所や清州城での活動が今後あるが、地元へ貢献できるように、地域の課題を見つけ、若い発想力で力強い問題解決策を発信できるように指導していきたい。様々な生徒を尊重し、対応していくにあたり、生徒指導や保健部が連携し、学校が一体となって指導することができた。家庭や外部と連携しさらなる強化体制を築きたい。授業はもとより、部活動、学校行事を通して仲間と積極的にかかわって主体的に取り組むことで、自信をつけて自己肯定感が高まり、そのことが豊かな人生につながっていくので、さまざまな仕掛けを今後もしていきたい。生き生きとした生徒の育成を地域に発信することが地域貢献と考え、学校説明会等を通して新川高校の魅力を感じてもらえるような教育活動を今後も行っていきたい。 | | |

(2)学校関係者評価結果等

| 学校関係者評価を実施した主な評価項目 | 各分掌の重点目標及び具体的方策 |
|-----------------------------|---|
| 自己評価結果について | <ul style="list-style-type: none"> ○採点時間の軽減につながるため、デジタル採点ソフトを導入する職員が増えた。 ○学校行事では、生徒会を中心に生徒が主体的に計画・実行していけるように指導にあたり、生徒中心の運営ができるようになってきた。 ○複雑化する入試に向けた情報提供を心掛け、生徒が最善の進路選択ができるように声掛けをした。進路行事を通し、自分のやりたいこと・学びたいことを考えさせた。 ○生徒指導に当たっては、教育相談とも連携し、学校全体で生徒への丁寧な対応を心掛けた。毎週の教育相談委員会では、情報共有と困りごとへの相談ができた。 ○交通安全意識の向上のため、講話実施や無事故無違反ラリーに参加等、継続的に生徒に考えさせた。地域の方からの声がいかにありがたいか考えるきっかけとなった。 ○情報リテラシーの習得のため自己点検や講習会を行った。改めて自分のSNSへの向かい方を振り返ることになり、適切な使用法を考えることができた。 ○感染症の予防のため、生徒保健委員による換気の放送を本年度も実施した。教室に設置してあるCO2モニターによって見える化し、換気の意識を高めた。 ○図書館の改修工事で、規模を縮小しての開館となった。その中でも、生徒の読書意識の高揚のため、たよりの執筆や書籍を手にとる機会を設ける等の工夫をした。 ○開かれた学校づくりの推進のため、PTA総会や学校見学会等で本校を周知できるよう準備を丁寧に行った。 |
| 今後の改善方策について | <ul style="list-style-type: none"> ○深い学びにつながるようなICTの活用を促すため、校内研修を行っていく。 ○本校に期待される生徒の育成のため、生徒が主体的に取り組む活動を活発化していく。 ○キャリア教育の推進のため、生徒の視野が広げられるよう外部とも連携していく。 ○本校の魅力が常に発信できるよう、ホームページの充実を図る。 ○校歌に親しみ歌うことで、愛校心を育成する。 ○教員の多忙化解消については、引き続き他校の取り組みも参考にしながら進めていく。 |
| その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望) | <ul style="list-style-type: none"> ○教員の一生懸命さが地域に伝わってくる。授業では「人に伝える」力も育成してくれている。 ○中学生や保護者は新川高校に好意的で、進路のこの期待が大きい。「主体的で対話的で深い学び」に本当につながっているかは日々検証が必要である。 ○新川の個性(性格等)が薄くなってきている(進学率だけではない)。 ○模擬試験の振り返りをさらに実施してほしい。タブレットを家でも活用したい。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| 学校関係者 評価委員会 の構成及び 評価時期 | ○学校関係者評価委員会の構成 学校評議員（清須市教育委員、清須市内中学校長、前 PTA 会長、地域代表、同窓会役員）、 現 PTA 会長・副会長 ○評価時期 令和 7 年 1 月 3 0 日（木）に実施。 |
|---------------------------------|--|